

カーボン・ニュートラルの更なる促進に向けて 環境省の「脱炭素社会実現のための都市間連携事業」に採択されました

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、環境省が公募した「令和4年度脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務」において、札幌市、川崎市、大阪市の各自治体と共同提案を行い、3件の採択を受けました。

本事業は、日本の自治体が有する技術やノウハウ等を海外展開し、海外都市の脱炭素社会形成を支援するもので、当社は、モンゴル国ウランバートル市、インドネシア共和国バンドン市、フィリピン国ケソン市に支援を行います。事業は、3カ年計画で行われており、ウランバートル市は3年目、バンドン市は2年目の取り組みで、ケソン市は今年度新たに事業採択されました。

3年目となるウランバートル市は、本邦技術の事例紹介や建物エネルギーゼロ化に関する講座などを通じた知識の向上、具体的な本邦技術の導入に向けた活用スキームの検討や制度設計などを行う予定です。2年目となるバンドン市は、1年目に整理した当該都市の課題を踏まえ、本邦技術や施策の同市への展開に向けた検討を行う予定です。また、今年度新たに事業開始となったケソン市は、温室効果ガス（GHG）排出が多い建物や交通分野に対し、施行されている施策や各種システムの現状などを調査して、具体的な課題の洗い出しを行います。

それぞれの都市が抱える二酸化炭素排出に関する課題を、本邦技術を活用することで解決する本事業に対して、当社は海外の都市事情に精通している点を活かし、各都市の課題の抽出・特定、本邦技術とのマッチング及び導入に向けた各種施策や仕組みづくりの支援などを行っています。

本事業を通じて、本邦の省エネ・再エネ等の知見や技術を海外都市に展開し、カーボン・ニュートラルの実現に引き続き貢献してまいります。

事業名	海外都市	共同自治体	対象分野	事業概要
ウランバートル市における寒冷地の建築・再エネ促進による脱炭素都市形成支援事業	ウランバートル（モンゴル）	札幌市	省エネ・再エネ制度構築支援	一次エネルギー消費に占める石炭の割合が70%を占めるウランバートル市において、札幌市の取り組みを活かした寒冷地における脱炭素型建築の仕様及び地域熱供給システムの促進と案件形成を行います。
バンドン市における省エネルギー促進、モビリティ改善による脱炭素都市形成支援事業	バンドン（インドネシア）	川崎市	省エネ・再エネ制度構築支援 フロン回収・破壊	交通渋滞や大気汚染への対策、環境配慮型の建物普及を目指すバンドン市において、公共交通利用促進策や大気質監視システムの普及促進、省エネ効果の高い空調やビルエネルギーマネジメントシステム（BEMS）の促進を支援します。
ケソン市におけるカーボン・ニュートラル実現に向けた脱炭素都市形成支援事業	ケソン（フィリピン）	大阪市	省エネ・再エネ交通インフラ制度構築支援	建物エネルギー分野、交通分野がGHG排出源の大部分を占めるケソン市において、建築物のエネルギーマネジメント・スマート化促進、交通流対策による大気質改善の支援を行います。

以上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL：03-6311-7551 FAX：03-6311-8011

URL：<https://www.oriconsul.com/>

統括本部 宮内、丸山